

公益社団法人日本青年会議所 2024 年度 基本方針	
岩手ブロック協議会 会長 中野 圭	
ブロック協議会の未来	親切心による行動とつながりの連鎖がもたらす 笑顔あふれる岩手の創造 目の前にいる人を助けたい、誰かの役に立ちたいという素朴で純粋な親切心を、当たり前のように行動へ移せる社会を目指します。これにより、見返りを求めない親切心を呼び覚ますことができた人財が、行動と人のつながりの連鎖をもたらすことで笑顔あふれる岩手を創造します。
ブロック協議会の役割	メンバー数の減少や在籍年数 3 年未満のメンバー増加により、これまで LOM が蓄積してきた事業構築や人財育成における経験が薄れています。加えてブロック内 12LOM が活動するエリアにおいて地域課題は多様化しており、課題解決を推し進める人財育成サポートを基盤とした LOM 支援が必要です。
ブロック連携事業 (政策手法)	1.地方創生による地域経済活性化につながる仕組み構築に向けた運動の推進 少子高齢化による労働生産性悪化は長引く経済低迷を招いています。日本の経済・雇用を支える地域の中小企業と取り巻く環境を好転させることで、地域経済を活性化する必要があります。自治体における経済施策の現状と課題について多角的に調査を行い、必要な提言活動につながる情報を収集及び提供して参ります。
	2.理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進 メンバー数の減少は岩手ブロック内各 LOM の持続可能性を危ぶませています。入会動機としても、活動の継続動機としても理念共感が必要です。理念教育システムの再構築、行動化のための良質な情報の共有、多様性のある組織の確立の重点目標を掲げ、中間検証に基づいた効果的な計画づくりを行うとともに、各 LOM の進捗と連動し、さらなる活用や推進を行います。
	3.ブロック協議会で運用できる人財育成パッケージの更新及び支援 メンバー数の減少は、数の面で LOM の存続を危ぶませているだけでなく、経験豊富な人財が卒業してしまい、スキルやノウハウが十分に引き継がれないことに起因した組織の質の低下を招いてしまうおそれがあります。単一の LOM で人財育成が難しい状況もあることから、協議会が人財育成機関として期待且つ必要とされております。これまで培われてきた人財育成パッケージをさらにニーズに即したもののヘブラッシュアップすると同時に、活用する支援を実施していきます。
	4.他者を思いやる JC カップ U-11 少年少女サッカーブロック予選大会の企画・実施 子供たちに相互扶助の心を醸成するために、トーナメント方式でのサッカー大会を開催することで、スポーツマンシップとグッドルーザーの精神を学び、広い視野をもった社会性を育みます。
	1.第 53 回岩手ブロック大会の開催 市民からのさらなる共感と応援をもたらすために、岩手ブロック最大の運動の発信の場を創出し、地元行政や企業、メンバーの家族を巻き込んだ大会とし、開催地に大きなインパクトをもたらします。
	2.第 41 期いわて JAYCEE アカデミーの実施 行動を呼ぶリーダーとしての資質を備えたメンバーを育成するために、行動力と巻き込み力を養うとともにブロック内でのメンバー間につながりと対外組織とのつながりを創出し、地域によりよい変化をもたらす覚悟を身につけたメンバーを増やします。
	3.メンバーの絆を深めるエリア別及びテーマ別交流会の実施 岩手県内で LOM を越えた交流をもたらすために、広域エリアや多様なテーマを設定した交流機会を創出し、メンバーの行動力を推進するつながりを育みます。
	4.ビジネスマッチング機会となる企画の実施 岩手県内において社会課題解決に向けて行動することを一層推進するために、ビジネスマッチング機会
ブロック協議会独自の事業	

	を創出することで、経営の多角化戦略立案及び実践に貢献し、地域経済を活性化させる起爆剤となります。
<b>ブロックによる LOM 支援の 実施内容</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1.各 LOM へのヒアリングを通じた組織課題のリスト化と効果的な支援策の検討及び実施</li><li>2.LOM を越えたメンバー間の交流を促す機会の創出</li><li>3.各 LOM のニーズに即した人や情報の提供、及び LOM と共に組織課題解決に当たるハンズオン支援の実施</li></ol>